

コロナに負けるな

宇都宮市の生活はどうだんべ？ 多文化共生フォーラム 特別編

江 小涛（こう しょうとう）氏（中国）「ウィルスと共生しよう」

Q1 宇都宮は暮らしやすいまちですか？

【宇都宮に来たきっかけ】

日本で学ぼうと宇都宮市に来てちょうど20年になります。当時はインターネットも普及していなくて情報収集が大変でした。はじめのうちは、宇都宮の生活に溶け込むことに精一杯でした。

【人との関わり】

宇都宮の人たちは、はじめのうちはシャイですが仲良くなると本当に良くしてくれるという印象です。当時の私は、できる限り積極的に人の中に入っていこうと心掛けました。今でも多くの方々に支えられて生活しています。本当に宇都宮が大好きで、少しでも恩返しができると思っています。

【「食」のまちづくり】

現在は、宇都宮市で飲食店を営み、宇都宮・栃木県産の食材を使った食事を提供しており、そのメニューの一つに餃子があります。現在協同組合宇都宮餃子会にも加盟しています。宇都宮は「餃子のまち」として知られていますが、故郷中国で日常的に食べられている餃子に、遠く離れたこの宇都宮でかかわっていることに不思議な縁を感じます。少しでも宇都宮のPRに貢献できればうれしいですね。

私は中国の「医食同源」という、「健康のためには、医療も食事とともに重要である」という考えを大切にしています。普段から健康に配慮した食事をするようにしており、お店のお客様に、おいしく食べてもらいながら健康を維持するお手伝いできればと考えています。

Q2 コロナ禍において生活にどのような影響がありましたか？

【仕事】

来日した時はバブル経済の終焉でオリオン通りに人通りがなく、とてもさみしい印象でした。新型コロナウイルスの影響で、今のオリオン通りも20年前と同じか、それ以上の閑散とした雰囲気になってしまい大変ショックを受けています。以前より印象が強いのには、今の私は前よりも宇都宮に強く関わりを持つようになったからだと思います。商売柄、お客様に安心してお食事をしていただけるよう、店舗の壁を抗菌仕様に改修したり、マスクを外す時に利用できる「マスクケース」を用意したりして、新型コロナウイルス対策に積極的に取り組んでいます。

【今後の生活】

ワクチン接種が始まりましたが、すぐに新型コロナウイルスの影響が無くなるのか不透明です。むしろ、「ウィズ コロナ（新型コロナウイルスとの共存・共生）」に気持ちを切り替えていくことが大切ではないでしょうか。病気にならないよう気力や体力を高めていく、そのためにできることをきちんとやっていければと思います。

私が大切にしている言葉は「郷に入れば、郷に従え」です。この言葉は、私が日本に行くことが決まったときに、尊敬の父が私に伝えてくれた言葉です。学びに来たこの宇都宮で結婚し、子どもも生まれ、今も暮らし続ける自分にとって、父の言葉の重さをとても強く感じています。